

第15期活動報告

会員総数は、2000年の527名をピークに6年間で89名減少し、現在438名となっている。会員減に歯止めがかからない状況の中、委員会、ブロック活動などの停滞やマンネリ化など、多くの問題が山積している。このような状況を少しでも改善し、充実した方向へ導くための活動を行った。

1. 活動概況

・ブロック活動支援

昨年に引き続き、地方ブロック(北陸ブロック)での総会および他イベントを企画し、ブロック活動支援をおこなう。

・広報の充実

機関誌「JUDI」の発行事業をメインとする広報委員会にタイムリーな情報と総会などの特集記事の編集およびホームページへの情報提供を行う担当者をおき、組織のネットワーク強化を充実させた。また、事務局をキーステーションとする「e-メールニュース」を配信している。

・委員会活動の役割確認と再スタート

委員会の役割を[広報:会員、社会向けの活動・研修:学生、自治体向けの活動・国際:海外向けの活動・事業:協力法人他企業向けの活動・美しい都市ランキング:社会向けの特別活動]と決め、役割の再確認をおこなった。また、研修委員会はUDCと協同の研修事業、発表会、CPD制度の導入検討、事業委員会はモニターメッセ、学生向け就職支援事業などの立ち上げなど事業の新たなスタートをきる。

2. 会員の動向 第15期の入会および退会者数、ならびに5月末日現在の会員数

	正会員	準会員	学生会員	協力法人
2004.5.31	470人	6人	8人	28社
2005.5.31	455人	9人	14人	26社
2006.5.31	438人	11人	13人	25社
入会者	11人	1人	0人	1社
退会者	28人	0人	0人	2社

入会者を退会者が大きく上回る傾向にある。入会メリットの明確化や社会的認知度を高め、新会員の獲得とサービスの充実など量と質の両面の向上を目指す必要がある。

3. 代表幹事会の活動

通常議事に、組織の再点検、再強化に関する議事を中心に、効率的な会議の進行を図った。

・上半期は主に美しい都市ランキング委員会活動支援や公募制プロジェクトの募集と選定活動に、委員会と代表幹事会とブロックの三者の連携強化の方策の検討をおこなった。

・下半期は主に委員会の役割の明確化、活動の再開支援、広報委員会の広報体制の強化を図るための検討ならびに役員改選のための作業と新役員への引継ぎをおこなった。